



ヨハネによる福音書13章14節を読んでみよう。

《あなたがたに平和があるように！
父がわたしをお遣わしに
なったように、わたしも
あなたがたを遣わす》

復活されたイエスは、私たち
とともに、新しいいのちと平
和の体験を生きるよう呼びか
けます。その体験を他の人た
ちとも分かち合えるように。

イエスは、私たちが体験した
イエスとの出会いを証する
ように招きます。

自分から外に出て、自分を守る
(と思っている)壁、自分で築いて
しまった境界線をのりこえ、時
と場所をも超えて、イエスが
御父から受けた使命、つまり
「神は愛でおられる」ことを、
人々に告げ知らせるようと。

新しいいのち と平和の体験



「今は、言葉だけ では足りません。」

初代キリスト者が
『私たちが聞いたこと、
目を見たことを伝えます¹』
と言ったように、私たちも
生きた体験を土台にするなら、
実りがあります。
「彼らがどれほど愛し合っ
ていることか。互いに死ぬ覚悟が
ある」と、私たちのことも
言われるほどに愛し合うなら、
どんな実りがあることでしょう。

あたえることで愛を
実践し、困っている
人に声をかけ、食糧、
衣類、住む所を提供し、
孤独な人、絶望した人の
友になり、苦しむ人の
支えとなって耳を傾ける
なら、きっと実りが
あるでしょう。

こうしてイエスの魅力が
世に証しされ、私たちは
もう一人のイエス
となって生き、私たちが
通しても、イエスはご自分
の業を続けられます。」³
キアラ・ルービック

1 ヨハネの手紙1・1参照
2 テルトウリアーノの「弁明」39・7
3 キアラ・ルービック2005年5月のいのちの言葉

実行に移す

ポジティブ を 浮き彫りに



僕らの雑誌「Teens」
の目的は、ポジティブの
視点から世界を見て、
あちこちで 少年少女 が行っている
『グッド・ニュース』
を伝えることです！

国際編集部に参加しない？

連絡してね！

centro.rpu@focolare.org



movimento dei
focolari

イタリア語だけど、Teensブログを見る？

<http://blog.teens4unity.net/>

一致をめざす少年少女 (T4U)
国際事務局による編集済

2019年5月ティーンズいのちの言葉

新聞

に悪いニュース
ばかり載るので、地域の
マスメディアに提案しよう
ということになった。

「明るいニュースの日を
作って、世の中にある素晴
らしい出来事で一面を埋め
てほしい」という案でした。



二つの学校の生徒と教師総勢376名の署名入りで、地域
のメディア全社に手紙を送り、「いいニュースに紙面を
さくことで、社会をもっと良くすることが可能だ、とい
う希望を与え、共通善のためにポジティブに働く意欲湧
かせることになる」と訴えました。

ある記者はこう書いてくれた。「せめて一日は、何百万
人の人が笑顔になったかとか、どこかの高い山を登頂し
たとか、誰かが生きていけるよう手を貸した、とかいう
ことがニュースになるでしょう。」別の記者は「明る
いニュースは、皆さんのように、善はたとえ音を立てな
くとも必ず悪に打ち勝つ、と信じる人たちから始まるの
だ」と書いてくれた。

別の新聞社のトップは、自分たちの新聞を読んで意見・
感想を送ってほしいと言ってきた。以来その新聞社は毎
年「メディアの日」を決めて、私たちのアイディアを取
り入れた紙面を作るようになった。

(スイスのティーンズから)

僕ら の経験:

